

令和7年度

【福津市・宗像市】定期接種

高齢者の带状疱疹予防接種について

高齢者の带状疱疹予防接種は、季節に関係なく、年間を通して接種できます。
ただし、接種を受ける義務はなく、自らの意思で接種を希望する人のみに、接種を行うものです。

接種の対象

過去に带状疱疹ワクチンを接種したことがない人で次のいずれかに該当する人。
接種したかどうかわからない人は、担当課へお問い合わせを。

65歳になる人	昭和35年4月2日生～昭和36年4月1日生の人
70歳になる人	昭和30年4月2日生～昭和31年4月1日生の人
75歳になる人	昭和25年4月2日生～昭和26年4月1日生の人
80歳になる人	昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生の人
85歳になる人	昭和15年4月2日生～昭和16年4月1日生の人
90歳になる人	昭和10年4月2日生～昭和11年4月1日生の人
95歳になる人	昭和5年4月2日生～昭和6年4月1日生の人
100歳以上の人	大正15年4月1日以前に生まれた人
※上記の生年月日の人が定期接種できるのは本年度限りです	
接種日当日に60歳以上65歳未満の人でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害で身体障害者手帳1級の人 *接種時に、身体障害者手帳の提示が必要	

接種の期間

通年

ワクチンの種類、接種回数及び自己負担額等

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2か月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能
自己負担額	4,000円 (8,734円のうち4,734円を公費負担)	10,000円 (21,934円のうち11,934円を公費負担)

- 上記のいずれかのワクチンを選択。両方を選択することはできません。
- 組換えワクチンは2回接種が必要で2回とも上記の公費負担があります(年度内に2回接種を完了した場合)
- ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

接種費用の免除

対象となる人のうち、次のいずれかに該当する人は、接種費用の免除が受けられます。
(1) 市町村民税非課税世帯の人
(2) 生活保護世帯の人
ただし、免除を受ける場合は、接種の当日、証明書類(①～⑦のいずれか1つ)が必要です。

免除要件	証明書類	③の証明について
市町村民税非課税世帯の人	① 介護保険負担限度額認定証(要介護認定者で交付を受けている人)	①②④⑤⑥いずれも持っていない人で、「接種費用の免除の対象となる可能性がある」場合は、お住まいの市で③の証明書の申請を。 詳しくは裏面へ⇒
	② 介護保険料決定通知書(所得段階が第1段階～第3段階の人)	
	③ 予防接種費用免除の証明書	
生活保護世帯の人	後期高齢者医療の人のみ	④ マイナ保険証 ⑤ 資格確認書(限度区分が「区分Ⅰ」または「区分Ⅱ」のもの)
	⑥ 「診療依頼書」又は「生活保護受給証明書」	

【お問い合わせは、お住まいの市担当課へ】

福津市いきいき健康課(ふくとぴあ)
TEL 0940-43-8115

宗像市健康課健診係(市役所)
TEL 0940-36-1187

接種当日に
必要なもの

- (1) 本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証等の氏名・生年月日・住所が確認できるもの)
- (2) 接種費用(免除を受ける人は、証明書類)(3) 身体障害者手帳(該当する人のみ)

ご注意
ください

- (1) 次に該当するときは、接種費用の公費負担はありません。
 - ・接種の対象とならない人が接種したとき
 - ・過去に带状疱疹ワクチンを接種したことがある人の接種
- (2) 費用の免除を受けるときは、接種前に証明書類を揃える必要があります。(接種後は、費用の免除を受けることはできません。)

「③予防接種費用免除の証明書」の申請について

証明書の交付を申請するときは、本人の確認ができる書類(マイナンバーカード、運転免許証等)を窓口を持参してください。代理の人が交付の申請をするときは、「委任状、代理人本人の確認ができる書類(マイナンバーカード、運転免許証等)」も忘れずに持参してください。なお、代理の人が同世帯の場合、委任状は必要ありません。

	福 津 市	宗 像 市
証明書	非課税証明書 (福津市带状疱疹予防接種用)	高齢者の带状疱疹予防接種費用徴収免除 対象者証明書
交付窓口	・税務課(市役所本館) ・市民課市民総合サービス係(津屋崎行政センター)	健康課(市役所本館)

【注】申請にあたって、転入、未申告などの理由により、課税状況が確認できないときは、別に非課税証明書の提示(又は申告)が必要となります。

予防接種の効果

- 水痘・带状疱疹ウイルスの再活性化による带状疱疹の予防効果。

予防接種の当日は、次のことに注意しましょう。

- 「かかりつけ医」での接種を。
日頃の体調をよく知る「かかりつけ医」で接種を受けましょう。
- 接種は体調がよい日に。
接種には身体に負担がかかるため、体調がよい日に受けましょう。
なお、当日、37.5℃以上の熱がある人は、接種を受けることができません。
- 接種後は安静に。
接種後は安静にしてください(30分程度)。
また、接種当日は、激しい運動や飲酒を避けましょう。
- 接種部位はこすらない。
接種当日も入浴は可能ですが、接種部位をこすらないようにしましょう。

接種後に次のような症状があらわれることがあります。

- 接種部位の赤み、腫れ、熱、痛みなど
生ワクチン(阪大微研)では注射部位の発赤やそう痒感・熱感・腫脹・疼痛・硬結などが発現する可能性があり、組換えワクチン(GSK社)では注射部位の疼痛・発赤、筋肉痛、疲労、腫れ、胃腸症状、悪寒、発熱などが発現する可能性があります。
- 気になる症状を認めた場合は医療機関へ
上記副反応の他、頻度は不明ですが、生ワクチン(阪大微研)については、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチン(GSK社)については、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。症状が気になる、あるいは続くときは、接種を受けた医療機関に相談してください。

接種の記録(接種済証)は、大切に保管しましょう。

- 接種の記録は必ずとっておきましょう。
- 不要な接種を避けましょう。
带状疱疹ワクチンの再接種については、接種費用の公費負担はありません。
かかりつけ医などに相談のうえ、必要な場合にのみ接種を受けましょう。